

リニア中央新幹線事業に係る関係市町村長と JR 東海との意見交換会概要

建設部リニア整備推進局

1 日 時 令和2年1月14日（火）15：15～17：15

2 場 所 南信消費生活センター 2階大会議室

3 出席者

- ＜市町村長等＞ 飯田市、下伊那郡 13 町村、中川村、南木曾町、南信州広域連合
- ＜長 野 県＞ 建設部リニア整備推進局長、南信州地域振興局長、飯田建設事務所長
- ＜J R 東 海＞ 宇野 護副社長 他5名
- ＜鉄道・運輸機構＞ 関東甲信工事局次長

4 会議内容（発言要旨）

■懸案事項への対応

●発生土

【市町村】

- 万全な安全対策を講じるとともに、造成後の管理について十分な協議をしてほしい。（飯田市）
- 技術的、特に安全に関わる部分の説明は、町が説明していくには厳しい部分がある。JR 東海の協力を期待したい。（松川町）
- 南木曾町は急峻な地形であるため、発生土置き場を受け入れるには構造物が不可欠。構造物の設置及びその維持管理について明確な対応を示すことが非常に重要。（南木曾町）

【JR東海】

- ・発生土に関しては、平成 26 年 7 月に長野県から活用先の候補地をいただき、その後も順次候補地を提供いただいている。
- ・現時点で大鹿村内及び喬木村内の4箇所が確定しており、それ以外に公共事業での活用を含め、約 30 箇所に関係機関や地元・地権者等との調整を進めている。
- ・飯田下伊那地方は、過去に三六災害のような大きな災害を経験されており、発生土を置くということに関して不安が大きいということは重々承知している。
- ・盛土については、最新の技術基準等をしっかりと遵守し、大規模災害に耐えられる、安全な構造物とするよう取り組んでいる。

- ・中川村の半の沢、及び大鹿村の鳶ヶ巣沢については、技術検討委員会において計画案が大筋了承され、現在設計の照査等が進められている。
- ・発生土置き場の下流側の皆様に対しても、引き続き丁寧に分かりやすく説明をしていく。
- ・盛土造成後の管理について、造成後に地権者へお返すことが基本であるが、個別の事情がある箇所については、関係機関や地権者と協議させていただく。完成後、私どもが管理する場合もある。

●工事車両の運行

【市町村】

- 国道 151 号で粒良脇トンネルの工事が始まる。車両の通行について調整を行っていききたい。（下條村）
- リニア本線以外にも、国道 153 号改良工事や座光寺上郷道路の改良、高森のラウンドアバウトといった大きい工事が始まる。車両の通行について調整できる機会があるとよい。（喬木村）
- 村としてインフラ整備を行う道路は、ほとんどが日常の生活道路であり、工事の運搬ルートと重なることもあると思う。調整をしっかりと図らないと、村の工事計画を地域の皆さんに説明できない。（喬木村）
- 壬生沢線、佐原線共に、地元住民の要望に沿った対応をしてもらった。御礼申し上げたい。（豊丘村）
- 工事用車両の運行ルートについて、定期的に検証をお願いしたい。（豊丘村）
- 松川インター大鹿線の大幅な改良、及び村内の迂回路について御礼を申し上げる。（大鹿村）
- 松川インター大鹿線及び渡場付近の通行について、安全管理をお願いしたい。（中川村）
- 発生土を北へ運ぶ際には中川村を通過することになる。重量規制している橋や、国の有形文化財に指定されている橋もあるので、ルートの選定には配慮してほしい。（中川村）

【JR東海】

- ・安全を第一に工事を進めていく。地域の皆様が、工事用車両の運行に関わる問題に非常に関心が高いということも承知している。
- ・運行ルート、時間帯、通行量については、関係機関と協議をしながら、地元の皆さんに丁寧に説明するとともに、ご意見を丁寧にお伺いして対応していききたい。
- ・工事用車両を低減するためには、仮置き場を確保し、運搬車両の平準化を図る方法や、通行車両が往復で同じ道を通らないよう、行きと帰りでルートを分ける方法など、いろいろな方法が考えられる。関係機関と綿密に連携を取りながら計画を策定していききたい。

●環境保全対策

【市町村】

- 防音防災フードに関して、環境基準の達成を図るためにも音源対策を基本として、地元の理解が得られるような形で、早期に結論を出してほしい。（飯田市）
- 水資源に係る事後調査結果を、住民が随時把握できるようにしてもらいたい。（飯田市）
- 工事により様々な影響が生じた場合を想定し、関係機関共通の対応マニュアルを提供してほしい。（飯田市）

【JR東海】

- ・私どもも、環境保全是大事だと思っている。地元から防音防災フードの設置要望があること、長野県の環境審議会で、来年度類型指定がなされる動きがあるということは承知している。

- ・騒音対策は、防音壁を基本に、沿線の住居の分布状況や病院や学校などの施設の有無など現地の状況に合わせて、土地利用対策や個別対策を駆使しながら、総合的な対策により環境基準との整合を図ってまいりたい。
- ・現地の状況を踏まえた騒音対策を、長野県のみならず全線において同じ考えを示しており、引き続き丁寧にご説明しながら進めてまいりたい。
- ・水資源の保全は非常に重要だと認識している。しっかりと対応していきたい。

●協定について

【市町村】

- 今後も色々な問題が起こると思うので、早め早めに検討事項を書面で整理していくのがよい。(阿智村)
- 昨年の夏以来、確認書、協定書等を締結している。このことで、住民の理解も大きく進んだと思う。(南木曾町)
- 今後の課題についても、住民の声に耳を傾けて、必要なところは文書を取り交わしたい。(南木曾町)

【JR東海】

- ・南木曾では、県、町、機構、当社の四者で基本的な確認事項を結んだ。それを遵守して、しっかりやっていきたい。

●用地補償について

【市町村】

- 日影の影響がどのくらいあるのか、どのように補償されるのかお聞きしたい。(喬木村)
- 用地交渉の経過について、村の方にも情報をいただきたい。(喬木村)

【JR東海】

- ・関係機関の協力を得て、準備の整ったところから用地の説明、個別交渉を進めている。
- ・日影補償については、公共用地の取得に伴う損失補償基準の要綱に従って実施していく。

■関係機関との連携強化

●現地体制強化

【市町村】

- 先日、JR 東海の社員の皆さんに、町民の希望でレンゲの種をまいていただき、住民は非常に喜んでいました。このような心の対話があれば、難しいこともクリアできると思う。このような取組をこれからも続けてほしい。(高森町)
- JR 東海の社員の皆さんが色々な場面で地域に顔を出すことで、住民の方と打ち解けることに繋がる。(阿智村)
- 町村役場にも JR 東海の担当社員を配置し、週一回でも二回でも机を並べて仕事をするすることで、

密な連携が出来ると思う。(阿智村)

○JR 東海と機構で、それぞれの役割を明確にしてほしい。(下條村)

○大鹿分室の社員も、地元の活動等に参加されている。(大鹿村)

【JR東海】

- 令和元年7月に長野県関係社員を6名増強し、56名体制で対応している。今後、工事発注の進捗により長野工事事務所の体制を充実させる。限られた人的資源ではあるが、きちんと対応できるように配置を考えていきたい。
- 首長の皆さんのお話を聞いて、事業者の顔が見えるということが重要だと改めて感じている。
- 一部区間について機構に委託しているが、建設主体はあくまで JR 東海であるため、基本的な進め方や協議といったところは、当社で責任もって対応する。
- 機構とは定期的に打合せを行っている。質問への回答等に時間を要さないように、密に連携して進める。
- 昨年4月に山口工区の土砂崩落を発生させてしまったが、行政の皆様にもしっかり情報を報告するという体制で取り組んでまいりたい。

●情報提供

【市町村】

○地元自治会に加入していない人並びに地元以外の人に対して、工事の進捗状況や工事用車両の通行状況等に関する情報を広く周知するようお願いしたい。(飯田市)

○松川町では、今後リニア対策委員会等の話し合いの場を増やしていくので、共に参加をお願いしたい。(松川町)

○他県の状況についても、随時情報をもらえるとありがたい。(阿智村)

○進捗状況について、住民や関係者に不安を与えないように情報を公開していかなければいけない。(下條村)

○スケジュールの変更があれば、出せる範囲で早めに情報を流してほしい。(下條村)

○今示されている工程どおりに進んでいくのか、気がかりである。(喬木村)

○工程の説明については、希望的な工程ではなく、確実なものを示されたい。(大鹿村)

○何か大きな動きがあれば、広報誌へ掲載するので情報提供をお願いしたい。(中川村)

【JR東海】

- 当初地元で説明したスケジュールどおり進んでいない所があるが、機会があるごとに、実情に即したスケジュールをご説明し、対応していきたい。
- 後ろにずれ込んだスケジュールについては、長期間の工事の中で吸収して取り戻していく考え。
- 当社のホームページでは、3カ月に1度程度工事の進捗状況を掲載している。ぜひご覧いただきたい。

■地域振興への協力

●観光振興、地域振興

【市町村】

○私が一番心配しているのは、地域の発展のために JR 東海にどういう形で関わってもらえるのかという部分。開業後、リニアをどういうふうに活用するかというところを一緒に考えてもらいたい。（高森町）

○観光ツアーや PR イベントなど、大変ご協力をいただき感謝申し上げます。引き続き協力をお願いしたい。（大鹿村）

【JR東海】

- ・大鹿村では、観光ツアーを企画、実施した。来年度も観光ツアーを実施する予定である。
- ・鉄道事業者として、様々な機会地域振興、観光振興に協力できるところはやっていきたい。

■その他

●地元負担の軽減

【市町村】

○地域住民への説明会などにかかる費用に対して、支援をお願いしたい。（豊丘村）

【JR東海】

- ・難しい話だが、当社としても何ができるか考えていきたい。

●駅周辺整備について

【市町村】

○地域の景観に配慮した駅の外観デザイン、仕様等に加え、駅周辺設備へのご理解・ご協力をお願いしたい。（飯田市）

【JR東海】

- ・具体的な内容については、引き続き協議させていただきたい。

●リニア関連施設について

【市町村】

○変電所について、非常に地形の厳しいところに計画をされているので、慎重に検討のこと。（大鹿村）

●2027年の開業について

【市町村】

○全ての事業が 2027 年開業を前提に進んでいる。ぜひとも事業を確実に進めてほしい。（飯田市）

【JR東海】

- ・元々タイトなスケジュールであるが、安全最優先でしっかり工事を進めていきたい。

●意見交換会における回答について

【市町村】

○一通りご回答いただき感謝。だが、私どもから言えばまだまだ十分とは言えない部分もある。引き続き連携を密にして解決策を探っていくようお願いしたい。（飯田市）